

2025/7月

TSUDOI

【増刊】GOOD銘柄 継続分析レポート(7月)

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆『狙い目：中堅銘柄』 継続分析ガイド

過去Goodマークを付与した中堅銘柄の継続分析

◆『大穴：新規銘柄』 継続分析ガイド

過去Goodマークを付与した中堅銘柄の継続分析

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「TSUDOI 分析レポートの解説」](#)をご覧ください。

継続分析レポートで中堅・大穴銘柄を調査する理由

中堅・大穴銘柄は、成長のポテンシャルが大きい一方でリスクも高いため、注意深い分析と継続的なモニタリングが重要です。これらの銘柄に特に注目し、直近の潜在的な成長機会を探るとともにリスクを管理する分析を行っています。TOP銘柄とは異なる視点から、潜在的な大きなリターンを狙うための情報を提供しています。

**とは**

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

有料
レポート

過去週次レポート掲載 中堅銘柄 継続分析ガイド

『狙い目：中堅銘柄』 継続分析ガイド

調査・分析方法について

過去週次分析レポートにて高評価（Good）を付与した銘柄に関する継続調査。

この調査では、以下の点に着目して分析を行います。

1. 直近の注目ニュースの有無：過去高評価を得た銘柄が、その後も新たな注目を集めるニュースが発生しているかどうかを調査します。
2. 直近の重要指標推移：銘柄の市場でのパフォーマンスや他の重要な指標がどのように推移しているかを調査します。

これらの要素を総合的に評価し、投資家にとって有益な情報を提供することを目指しています。

2024年以降のGoodマークを付与した銘柄一覧

銘柄	レポート掲載日	銘柄	レポート掲載日	銘柄	レポート掲載日
Ethereum Name Service	2024年 1/12, 7/26	Taiko	2024年 6/7, 11/13	Ethena	2025年 2/7
Raydium	2024年 11/22, 2025年 1/24	Hyperliquid	2024年 12/20	Pyth Network	2025年 2/21
Virtuals Protocol	2024年 12/13	Ondo	2024年 6/7, 7/26, 8/9, 9/26, 11/1, 11/22, 12/6	Saros	2025年 4/4
Starknet	2024年 3/8	MANTRA	2024年 7/19	Helium	2025年 4/18
Manta Network	2024年 3/8, 7/5	Jupiter	2024年 8/2	Stacks	2025年 4/25
Axelar	2024年 3/14	Aerodrome Finance	2024年 9/20, 2025年 6/20	Maple Finance	2025年 6/13
Biconomy	2024年 4/5	Worldcoin	2024年 11/1	Sei	2025年 6/27
Metis	2024年 4/26, 5/10	ai16z	2025年 1/17	Euler	2025年 7/11

※2023年 Goodマーク付与銘柄：ORDI, Celestia, Blur, Terra Classic

Virtuals Protocol : VIRTUAL (継続GOOD)

直近の注目ポイント：新ガバナンス導入で透明性と参加促進へ

7/2 Virtuals Protocol (VIRTUAL) は、新たにガバナンスポータルを公開。veVIRTUAL保有者がプロトコルのアップグレードや資金配分に関する提案・投票を可能とし、運営をコミュニティ主導型に移行した。透明性や安全性の向上が見込まれ、中長期的にはコミュニティ参加者の増加、活発なガバナンス運営が期待され、VIRTUALのトークン需要は高まっていくシナリオが有力である。

Hyperliquid : HYPE (継続GOOD)

直近の注目ポイント：未決済建玉106億ドル突破、機関投資家も注目

7/12 Hyperliquid (HYPE) は未決済建玉 (OI) が106億ドルを突破し、トークン価格も過去最高の47ドルに急伸した。機関投資家の関心拡大やBybit上場がプラス材料となり、DeFi市場におけるHyperliquidの注目度が急上昇。中長期的にも取引需要の拡大に伴い、HYPEの価値と需要はさらに高まる見込みだ。

Ondo : ONDO (継続GOOD)

直近の注目ポイント：完全分散化決定、機関資金流入が加速

7/13 Ondo Financeは、Ondo DAOによる完全分散型ガバナンスへの移行を公式に発表した。Bifrost(マルチチェーン流動性プロバイダー)やLayerZero(クロスチェーンプロトコル)との統合でクロスチェーン運用も可能になり、OUSGトークンのCoinbase PrimeやMetaMask Institutional上場を受けて機関資金流入が加速。中長期的にもRWA市場拡大に伴いONDO需要が増加すると予想される。

Sei : SEI (継続GOOD)

直近の注目ポイント：ネイティブUSDC統合で流動性大幅改善

Seiは、CircleのネイティブUSDCおよびCCTP V2を統合。従来のブリッジ型からネイティブ型に切り替え、13のチェーン間で迅速なUSDC送金が可能に。これにより流動性が向上し、ゲームやDeFi分野での需要拡大が予想され、中長期的にもSEIの価格・需要ともに堅調な推移が期待される。

Jupiter : JUP (新規GOOD)

直近の注目ポイント：トークン化株式導入で流動性向上へ

7/9 Jupiter (JUP) は新たなDeFi貸付プラットフォーム「Jupiter Lend」にxStocksを統合し、トークン化された株式による融資を開始。Solana上での伝統的金融市場とDeFiの融合が進み、流動性拡大が見込まれる。中長期的には、伝統資産の取込みによるユーザー拡大と流動性向上で、JUP需要がさらに高まる見通し。

Aerodrome Finance : AERO (要注目)

直近の注目ポイント：Coinbaseの7/16イベントの波及効果への期待

Coinbaseが7/16に開催する「New Day One」イベントは、Baseの進化を焦点とした大型イベントとなる。Aerodrome Financeのような主要なBase関連プロジェクトへの波及効果も見逃せないポイントになり、イベントでの新機能やアップデート発表がBaseエコシステム全体の流動性や需要を高め、関連トークンの価格に間接的に影響を与える可能性があります。

Ethena：ENA（要注目）

直近の注目ポイント：Upbit上場で取引量が急増

7/1 Ethena Labsは、SECのCrypto Task Forceと会合を実施した。USDeを支払い手段として扱う規制の明確化を求め、セキュリティではなく合成ドルを別クラスとする主張を展開した。GENIUS ActやSTABLE Actを引用し、規制環境の進展を図るものである。これはプロジェクト本体ではなく規制面の動きであるが、大型プロジェクトにとっては中長期的な米市場アクセス拡大の鍵となる。結果として、ENA価格の安定性向上に寄与する可能性もあるが、SECのコメント次第では窮地に陥ることもあることにも注意が必要。

Starknet：STRK（ネガティブニュース）

直近の注目ポイント：大規模アンロックで売り圧強まる懸念

7/15 Starknet（STRK）は流通量の約3.7%（1.27億STRK）がアンロックされ、短期的な売り圧増加による価格下落リスクが高まっています。大規模アップデートやdApps導入によるネットワーク成長が進む一方、当面は供給増の影響が強く、価格の軟調推移が懸念されます。中長期的な需要回復には、さらなるエコシステム拡大が必要です。

継続分析による調査結果(継続分析で特筆すべき注目要因がなかった銘柄)

Axelar：AXL

直近の注目ポイント：XRP統合でマルチチェーン需要拡大へ

7/12 AxelarはXRPとのブリッジを公開し、XRPが60以上のブロックチェーンに接続可能に。XRPの利便性が向上し、DeFiやゲーム領域での活用拡大に期待がかかる。中長期的には、流動性強化やマルチチェーン連携の促進によりAxelar（AXL）の需要が継続的に増加するシナリオが有力視される。

Taiko：TAIKO

直近の注目ポイント：Taiko主催でETHのL2開発促進へ

7/1 Taikoはフランス・カンヌでEthereumロールアップサミットを開催。Ethereumのスケーリング技術やL2インフラについて主要開発者や機関投資家と議論を展開した。中長期的にサミットを機にインフラ強化や市場参入者の増加が期待されるが、レイヤー2分野の差別化が難しくなるなか、影響は限定的となる可能性があります。

直近1カ月のGoodマークの継続調査にて、新しい注目要因が見当たらなかった銘柄となります。

進捗なし：Ethereum Name Service（フォロワー数2カ月連続増加）、Raydium（フォロワー数12カ月連続増加）、Biconomy（フォロワー数2カ月連続増加）、Metis（フォロワー数2カ月連続増加）、Worldcoin（フォロワー数12カ月連続増加）、ai16z（フォロワー数7カ月連続増加）、Pyth Network（フォロワー数10カ月連続増加）、Stacks（フォロワー数12カ月連続増加）、Maple Finance（フォロワー数12カ月連続増加）、Euler（フォロワー数7カ月連続増加）

徐々にフォロワー減少中：Manta Network、MANTRA, Saros、Helium

過去週次レポート掲載 大穴銘柄 継続分析ガイド

Goodマーク大穴・新規銘柄の継続調査

調査・分析方法について

過去週次分析レポートにて高評価（Good）を付与した銘柄に関する継続調査。

この調査では、以下の点に着目して分析を行います。

1. 直近の注目ニュースの有無：過去高評価を得た銘柄が、その後も新たな注目を集めるニュースが発生しているかどうかを調査します。
2. 直近の重要指標推移：銘柄の市場でのパフォーマンスや他の重要な指標がどのように推移しているかを調査します。

これらの要素を総合的に評価し、投資家にとって有益な情報を提供することを目指しています。

2024年以降のGoodマークを付与した銘柄一覧

銘柄	レポート掲載日	銘柄	レポート掲載日	銘柄	レポート掲載日
Xai	2024年 1/19	Saga	2024年 4/12	Morpho	2024年 12/6
Manta Network	2024年 1/19	Omni Network	2024年 4/19	NAVI Protocol	2024年 12/13
Ondo	2024年 1/26	Merlin Chain	2024年 4/26	Orca	2024年 12/13
Metis	2024年 1/26	BounceBit	2024年 5/17	Pangolin	2024年 12/20
Dymension	2024年 2/9	Taiko	2024年 6/7	Origin Protocol	2024年 12/6
Aevo	2024年 3/14	io.net	2024年 6/14	Velodrome Finance	2024年 12/20
ether.fi	2024年 3/22	Artificial Superintelligence Alliance	2024年 7/5	DeepBook Protocol	2025年 1/10
Ethena	2024年 4/5	LayerZero	2024年 7/5	Arcana Network	2025年 1/17
Wormhole	2024年 4/5	SaucerSwap	2024年 11/22	RedStone	2025年 3/14

※Manta Network、Metis、Taiko、Ondo、Ethenaは中堅銘柄として注目要因を考察しておりますので、新規銘柄のトピックでは割愛致します。

※2023年 Goodマーク付与銘柄：Arkham

RedStone : RED (継続GOOD)

直近の注目ポイント：新オラクルTSSO導入でRWA市場開拓へ

7/1 RedStone (RED) は Securitizeと共同で、実世界資産 (RWA) 向けに単一ソース資産評価の新基準「TSSO」を導入。これはオラクルにより単一ソースの資産価格 (NAV) を暗号的に検証可能にするもので、透明性向上を実現。機関投資家のRWA参入加速に伴い、中長期的にREDトークン需要の拡大が見込まれる。

BounceBit : BB (要注目)

直近の注目ポイント：世界株式のDeFi統合で需要拡大

7/3 BounceBit (BB) は 2025年第4四半期に米・欧州・香港・日本市場の株式をトークン化し、DeFiとの完全統合を計画。DEXでの取引や貸出担保などの用途を持たせ、金融市場の流動性拡大が見込まれる。中長期的には規制課題があるものの、伝統金融との融合によるBBトークンの需要増加が予想される。

Omni Network : OMNI (ネガティブニュース)

直近の注目ポイント：USDTサポート終了で流動性低下リスク

7/12 テザー社(USDTの発行母体)がOmniを含む5つのブロックチェーンでのUSDTサポート終了を発表。利用者減少を理由に、EthereumやSolanaなど活発なチェーンへの集中を図る方針。これによりOmni Networkは流動性低下が懸念され、中長期的にOMNIトークンの需要が減退する可能性が高まっている。

継続分析による調査結果(継続分析で特筆すべき注目要因がなかった銘柄)

Dymension : DYM

直近の注目ポイント：大規模エアドロップ第2弾開始

7/2 Dymensionは、トークンエアドロップ第2弾「Genesis Rolldrop Season 2」を開始。メインネットの「Beyond」アップグレードを控え、ロールアップ構築者やDYMステーキングユーザーへの報酬を強化。今後はロールアップ需要増加や開発者への奨励策により、中長期的にDYMの需要拡大が期待される。

Merlin Chain : MERL

直近の注目ポイント：BTCステーキングで高利回り提供

6/25 Merlin Chain (MERL) は最大年利21%のBTCステーキングを開始。BTCを活用したクロスチェーン流動性強化を狙い、初期プール上限は50BTCに設定。BTC保有者のDeFi参入を促し、今後MERLの需要は、クロスチェーン需要の増加やDeFi市場の活性化に伴い中長期的に拡大が予想される。

LayerZero : ZRO

直近の注目ポイント：プロトコル手数料導入でZRO焼却期待

6/27 LayerZero (ZRO) は、6月20日～27日にプロトコル手数料導入(手数料でZROを買い戻し焼却)の是非を問う2回目の投票を実施したが、投票率不足で不成立に終わった。ただし高い支持率を得ており、今後も投票が続くため、手数料導入が実現すればZROの希少性向上が見込まれ、中長期的な需要拡大につながる可能性が高い。

NAVI Protocol : NAVX

直近の注目ポイント：OKX提携でxBTCのDeFi利用促進

6/24 NAVI Protocol (NAVX) は、OKXおよびSui財団と提携し、Suiネットワーク上でxBTCの貸付・借入サービスを開始。ユーザーへのインセンティブとしてNAVXとSUIの報酬を提供。BTCのDeFi活用促進が見込まれ、中長期的にはSui上でのBTCFi需要拡大に伴い、NAVXトークンの需要増加が期待される。

直近のGoodマークの継続調査にて、新しい注目要因が見当たらなかった銘柄となります。

進捗なし：Aevo（フォロワー数2カ月連続増加）、Ether.fi（フォロワー数3カ月連続増加）、Wormhole（フォロワー数3カ月連続増加）、SaucerSwap（フォロワー数8カ月連続増加）、Morpho（フォロワー数10カ月連続増加）、Orca（フォロワー数12カ月連続増加）、Origin Protocol（フォロワー数先月より増加）、DeepBook Protocol（フォロワー数12カ月連続増加）

徐々にフォロワー減少中：Xai、Saga、io.net、Pangolin、Velodrome Finance、Arcana Network

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap : <https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp : <https://www.coincarp.com/>
- Messari : <https://messari.io/>
- TokenInsight : <https://tokeninsight.com/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト： <https://tsudoi-platform.co.jp/>